学校番号	1006

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎」明日の生活を築く　（開隆堂出版）						
副教材等	最新生活ハンドブック　（教育図書出版　第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習などを通じて考え、理解を深め知識を身につけます。他者の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭、及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、実習記録 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、実習記録 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、実習記録 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、実習記録 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1期	自分らしい人生を送る	○家庭科の学び方 ○自分を見つめる ・自立について ○生涯の生活設計	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見出だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について、検討する技術を身につけている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート ノート 実習計画 実習レポート 定期考査
	消費生活	○消費者市民として生きる ・生涯の経済計画とリスク管理 ・消費行動と意思決定 ・持続可能な消費	○	○	○	○	a:生活における経済の計画、消費行動と意思決定、消費者の権利と責任などに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 消費生活についての課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:自立した消費者として家庭経済の管理や計画に関する技術を身に付けている。 d:生活における経済の計画、消費行動と意思決定、消費者の権利と責任などについて理解し、適切な意思決定に基づいて行動できるために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート ノート 実習計画 実習レポート 定期考査

1～3期	楽しく食べる安全な食生活	●この単元は一年間にわたって学習する ○現代の食生活の問題点 ・現代の食生活の問題点を考える ○食事と栄養・食品 ・栄養素の種類と機能 ・食事の見直しとバランスのとれた献立 ○食生活の安全と衛生 ・食中毒について ・食品の安全・衛生 ○調理の基礎 ・調理実習５回 （年間を通じて） ・食品の取り扱い ・食事のマナー ・調理技術	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活ついて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート ノート 実習計画 実習レポート 定期考査
2期	着る	○着る ・被服の機能と着装 ・被服の管理と計画	○	○	○	○	a:着装、被服材料、被服構成、被服製作、被服管理などの衣生活の科学と文化に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 着装、被服材料、被服構成、被服製作、被服管理などについて、課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:主体的に衣生活を営むために必要な被服製作、被服計画、被服管理などの技術を身に付けている。 d: 着装、被服材料、被服構成、被服製作、被服管理などについて、科学的に理解し、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート ノート 実習計画 実習レポート 定期考査

2期	住まう	○住まう ・様々な住まいと暮らし方 ・安全で快適な住まい	○	○	○	○	a:住居の機能、住空間の計画、住環境などの住生活の科学や文化に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住空間の計画、住環境などについて課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:主体的に住生活を営むために必要な住空間の計画などの技術を身に付けている。 d:住居の機能、住空間の計画、住環境などについて科学的に理解し、安全と環境に配慮した住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート ノート 実習計画 実習レポート 定期考査
3期	子どもと共に育つ	○子どもにかかわる ・生命の誕生について ・子どもの発達と保育 ・子どもの生活と保育	○	○	○	○	a:子どもの発達と保育について関心をもち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめ課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート ノート 実習計画 実習レポート 定期考査

3期	高齢期の生活	○高齢期の生活 ・高齢者の生活と課題 ・高齢社会を生きる	○	○	○	○	a:高齢期の身体的、心理的特徴について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の個人としての側面について理解を深め、生活上の課題についてその解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 高齢期の身体的、心理的特長について理解し、適切に関わ方、高齢者の自立生活を支えるる技術を身に付けている。 d: 超高齢社会の現状と課題について理解できている。	授業観察 ワークシート ノート 実習計画 実習レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。